

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和3年度第1回加東市児童館運営委員会														
開催日時	令和3年7月12日(月) 午後2時00分から午後3時30分まで														
開催場所	発達サポートセンターはぴあ 多目的室														
<p>議長の氏名 (委員長 鈴木 正敏)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>【出席委員】5人</p> <p>鈴木 正敏 委員長、西田 千枝子 委員、長谷川 志保 委員、村上 涼子 委員 土肥 瑞穂 委員</p> <p>【欠席委員】0人</p>															
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>無し</p>															
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">加東市教育委員会</td> </tr> <tr> <td>こども未来部部長</td> <td>広西 英二</td> </tr> <tr> <td>こども教育課課長</td> <td>井澤 彰子</td> </tr> <tr> <td>同副課長</td> <td>稲岡 めぐみ</td> </tr> <tr> <td>同係長</td> <td>丸山 久美子</td> </tr> <tr> <td>同主事</td> <td>西村 光</td> </tr> <tr> <td>加東市児童館厚生員</td> <td>依藤 洋子</td> </tr> </table>		加東市教育委員会		こども未来部部長	広西 英二	こども教育課課長	井澤 彰子	同副課長	稲岡 めぐみ	同係長	丸山 久美子	同主事	西村 光	加東市児童館厚生員	依藤 洋子
加東市教育委員会															
こども未来部部長	広西 英二														
こども教育課課長	井澤 彰子														
同副課長	稲岡 めぐみ														
同係長	丸山 久美子														
同主事	西村 光														
加東市児童館厚生員	依藤 洋子														
<p>○議事及び会議結果</p> <p>【議事】</p> <p>(1) 協議事項「令和2年度児童館の事業実績について」</p> <p>市長からの諮問を受け、事務局が資料①から④に基づいて説明し、各委員からご意見をいただきました。</p> <p>(2) 報告事項「令和3年度児童館の事業計画について」</p> <p>事務局が、資料⑤から⑦に基づいて説明し、各委員からご意見をいただきました。</p> <p>(3) その他</p> <p>特になし。</p>															

○会議の経過

【開会】

- ・開会のあいさつ（鈴木委員長）
- ・自己紹介（委員及び事務局）
- ・資料確認（事務局）

【議事】

（1）協議事項「令和2年度児童館の事業実績について」

- ・事務局が資料①から④までを説明、その後に委員による審議。

（委員）

子どもが小学生になり、児童館に行く回数が減っているのですが、その中でも楽しみな活動として、3世代交流のお月見でお団子作りや、獅子舞とか。去年はお祭りなどもなかったの、今年も子どもも獅子舞とか楽しみにしていたのですが、見られへんのかなあと残念がっていたのが正直なところ。すごく楽しみにしているのでまたしていただけたらありがたいなと思います。

（委員長）

獅子舞とかなかなか見られないので、いろいろ中止が多いので、その中でもできることがあればと思います。ありがとうございました。

（委員）

企画の中で、地域のボランティアさんが来られているものってあるのでしょうか。ほとんど講師の方ばかりですか？地域の繋がりみたいなものがあれば教えていただきたいです。

（厚生員）

地域のボランティアの方には、いろんな事業に参加してもらっています。児童館まつりや、マンカラ大会など、いろんな世代を含めて、高校生、大学生、地域の皆さんというかたちで来てもらっています。3世代交流の講師は全て地域の人たちです。これは県との事業の兼ね合いで実施したもので、獅子舞は、大門の地域の保存会の方が来てくださり、しめ縄作りなどは地域の80歳くらいの方も来てくださって、いろいろ教えてください。3世代交流は他の地域で実施できなかったのをこちらで受けたのもあって、令和2年度は結構させていただきました。地域の人たちには事業に関わらず、普段からボランティアでよく足を運んでもらっています。

（委員）

児童館の中でボランティア登録みたいなものがあるのですか？また、どういう風に呼ばれていますか。

（厚生員）

特に登録して、という事ではないのですが、社会福祉協議会にも登録されているボランティア登録の中からお願いしたり、高齢者大学のボランティアの方が来てくださった。しめ縄を作る活動にはボランティア仲間からのご紹介もあって声を掛けさせていただいています。

児童館の講演会やリフレッシュ講座、子育て力アップ講座などは、社会福祉協議会の託児ボランティアさん達に来ていただいて毎回助かっております。

（委員）

社会福祉協議会も去年は行事とか中止が多く、ボランティア活動も止まったりしていたので…。まだ今後も人が集まる行事とかはちょっと検討中ですが、また社会福祉協議

会も今後、何か一緒にできたらなと思います。

(委員長)

まだ予断を許さない状況で、また第5波とかも来そうなので急に開けても大変だと思いますが…もしここで(行事等)お互いにできたら、よろしくお願いします。

(委員)

たくさんのお仕事をされていると改めて感心しました。初めての参加なのでお尋ねするのですが、令和2年度加東市児童館主要事業の実績という中の、3館合同ひろば事業と、3館合同つどいのひろば事業その他と、報告の中の親子活動とひろば活動はどんな風に分けられているのか教えていただきたいです。

(厚生員)

「子育て 子育てタウン かとう」～子どもがいきいきと成長できるまち、地域全体、まち全体がみんなで子育てに協力できるまちを！～という市の方針を受け、児童館の活動としては、①遊びを通した子どもの育成、②子育て家庭の支援、③地域の子育て環境づくりという形でボランティアの方やいろんな地域の人と関わっていくということを目的としています。

『つどいの広場事業』は、1年間の親子登録制で各館に年齢別のサークルが作られています。月1回は決まった日に集まり活動をします。それ以外に保護者向けのセミナーや、講座のほか、合同の活動など、各館やサークルによって計画します。従来3歳児までであったのですが、就園がどんどん早くなって、令和2年度からは0、1、2歳児のグループになっています。

『ひろば活動』は、登録なしのだけでも参加できる活動で、遊びを通した子どもの育成として、“～ひろば”や“～教室”という、子どもの遊びや体験活動を実施しています。

(委員長)

児童館では講師の先生を呼んでこられて(参加自由な)教室を開催されたり、また、自主的にサークルを作られてそこで活動されたりする方もいらっしゃる。小学生の来館者においては、社児童館は結構多いですね。他の児童館は小学校との立地関係によってか、来館者数が少ないようです。

(2) 報告事項「令和3年度児童館の事業計画について」

- ・事務局が資料⑥から⑦を説明、その後に委員による質疑応答。

(委員長)

令和3年度の事業計画の内容についてご意見等伺いたいと思います。

(委員)

活動をたくさんされていて、本当に子育てをされている保護者はありがたいだろうなと思います。報告書や事業計画を見ていて、ものすごく詳しい冊子や報告書が作られているのでこれを作るのは大変だったのではと思いました。子育てのサポートのためより利用者に関わる時間が増えるような報告書になるといいなと思いました。

(厚生員)

これを見てもものすごく時間がかかっているように見えるのですが、実際には事務的な報告のための時間は全体から見るとそう多くありません。1人でセミナー1つを全部受け持っているわけではないので分担でき、時間をかけてやらなければならないものではないと私も思っています。

(委員長)

各担当がされるのでそんなに時間はかからないという事ですね。どんな活動があるか、来られる方にお見せした方がいいですね。その中でも数値とかは省略しても構わないという事でしょうか。

(委員)

計画を聞かせていただいて、児童館目標のところでは先生が来館者の方に必ず声を掛けることや、しんどそうな方を見て相談を受けるなどをお聞きして、きめ細かく見ていただいているということと、講座やひろばを通してお母さんたちの居場所にもなっていることで安心して過ごせそうだなというのを感じました。

(委員)

自分の子どもが小さい時に児童館に行っていた時のことを思い返して聞いていたのですが、うちも0歳からサークル活動に入らせてもらい、ひろばの方にも毎月、ほぼ毎日のように行っていたので、いつも気さくに優しくお声掛けいただいて、私も楽しかったですし、子どもも楽しんで通わせていただいていたいました。また、子ども同士の繋がりもできましたけど、親同士の繋がりもすごくできていて、最近あまり出会えていないけれど、久しぶりに出会うと子どもたちもわーっと遊ぶし、お母さん同士もいろいろ情報共有できて、サークルとか児童館に行かせてもらっていい繋がりができたと思っています。

(委員長)

必ず声を掛けるという事で努力していただいて、本当にお母さんたちの役に立っているなあという感想です。

私の方から、コロナで来館者もだいぶ減りましたよね。マスクもしているし話辛いかありますか。前みたいに久しぶりに会ってもわーっと話せる状況ではまだちょっとないと思うのですが…そういう雰囲気っていうのはありますか。また、水遊びとかは？

(厚生員)

そんなはじけた感じではまだないですね。前からずっと来てくださっていた人は、「本当に開くのを待っていました」と、言ってくださって、割と落ち着いた感じで、子どもたちもはじけるというより淡々と遊ぶのが当たり前みたいな様子です。

今年はまだ水遊び的なことはしてないですね、感染症対策のためまだ全部の道具が使えているという状態ではないです。緊急事態宣言が解除になって、現在は大型遊具がやっと使えるようになって、子どもたちはそこに1番上っていきますね。それからザリガニやメダカ、カタツムリなどを目の高さの位置に並べていますが、生き物の所にも行きますね。時には触ってもいいですか、と聞かれたりして、やっぱり自然（に触れるの）は良いのだなあと思います。

(委員長)

いろいろと苦労しながらやっていただいているという事で、ありがとうございます。

現時点で今年に来館者数としてはそんなに増えてないですね。

認定こども園になって預けやすくなって、就園が低年齢化しているということで、ベビーのところばかりが繁盛して、ちょっと大きくなると、ぎりぎりの人数でされているということですが、ベビーの頃がお母さんのにも1番大変だと思いますので、ベビー向けの事業がたくさんあるという事はいい事なのかなと思います。

先ほど言っていた、お母さん同士で話をするような、そういう繋がりというのはこれからも多分必要ではないかなと思いますので、その点は継続してサポートをしていただくのがいいかと思います。そういうケアサポートみたいな感じでされていくのがこれからのニーズに合っていくのではないかなというふうに思います。新型コロナウイルス感染症の流行により、人との繋がりが薄くなってきているので、そういう意味でも児童館のこれからの役割、繋がりを作る場を提供するというのはすごく大事なのではないかなというふうに思いました。

学校では休校があつてから子どもたちは何か変わりましたか？

(委員)

給食を食べるのは黙って食べるというのが本当に浸透して、去年修学旅行にも行きましたが、しーんと食べているのが可哀想だなあと…バスの中でもプールに入るのもしーんとしていて、でもそうでないといけないし…多分どの学校も本当に静かなプール

や、静かな修学旅行で、本当に仕方がないけれど、いいのかな…と。今までだったら私たちが「静かにしなさい」と指導をしていたのが、先生の笛の音しか聞こえないプールで、ものすごく違和感があります。その中でもやらないといけない事はきちんとやるという事で頑張っています。

(委員長)

子どもが密になるのは止められないが、密になることによる感染のリスクと人間的な触れ合いのバランスを保つようにしていただきたい。

もう少し(規制が)緩くなってきたらもう少し話したり語り合ったりとかできるのですが、お母さんたちもストレスが溜まっていらっしやるだろうなと思います。ぜひ児童館に行ってもっと喋れる雰囲気を作っていたいただけたらなあと思います。

(3) その他

- ・特になし

【閉会】

- ・事務局より連絡

○次回の委員会について

- ・閉会のあいさつ(広西部長)

○当日資料

- 資料①-1 児童館来館者数(平成27年度~令和2年度)
- 資料①-2 令和2年度 児童館来館者数(前年度との比較)
- 資料①-3 令和2年度 児童館来館者の内訳
- 資料② 令和2年度 「かとう子育てねっと」運営状況
- 資料③ 令和2年度 児童館主要事業実績
- 資料④ 児童館新型コロナウイルス感染症対策
- 資料⑤ 令和3年度 児童館運営方針
- 資料⑥ 令和3年度 児童館主要事業計画
- 資料⑦ 令和3年度 児童館年間行事活動予定表

令和3年9月9日

委員長

鈴木正敏 